

2014年4月度 野田村仮設住宅訪問活動報告

2014年5月17日(土)
報告：松坂有佳子(旭川東光教会)

実施日：2014年4月11日(金)

参加者：11名

(鮫教会3名、青森教会3名、北三陸教会1名、八戸教会1名、八戸聖書教会1名、旭川教会1名、旭川東光教会1名)
お茶会用持参品：黒棒、さんしょせんべい、島みかんあめ(鹿児島地区牧師会)、りんご(青森教会準備) イースターエッグ
(鮫教会準備)、卵ケース入りチョコレート(旭川東光教会準備)

門前・下安家・米田地区仮設個別配布用品物：インスタントラーメン、クッキー(中部地方連合)、イースターエッグ、
卵ケース入りチョコレート

希望を祈りつつ



新しい年度を迎え、さらに受難週を前に、教会にとって慌ただしい時期に第32回野田村訪問活動は行われました。季節はずれの雪模様に背中を丸めながら、集合場所の鮫教会に集まってきたボランティアたち。しかし集まったメンバーの笑顔や全国から祈りとともに寄せられた物資を前に、主の名によって行われる働きに携わる恵みを感じて、心は温かくなっていきます。

毎回のように参加するベテランボランティアも、はじめて参加するボランティアも、心を合わせて礼拝します。私たちの活動は、今も生きて働いておられる主イエス・キリストなくしては、全く虚しいものでしかないからです。

お茶会・イースター

今回の活動には、鹿児島地区牧師会からはお茶会用のお茶菓子、中部連合からは小規模仮設住宅の方々へお届けするための、ご当地ラーメンなどの麺類、それに手作りクッキー。差し出すことを導かれた者と、それを用いる働きを導かれた者とが、主においてひとつの奉仕に導かれています。このようにして32回この働きを続けられています。

今回のお茶会では、復興住宅のことを明るい材料として語られる方が少なくありませんでした。「あと2年の辛抱……」「いろいろあるけど、少しずつ前に進んでいる」そのような言葉が聞かれました。しかし単純に復興住宅への入居を喜ぶことができない方々もおられるようで、対応が難しいという社協の方の言葉もありました。

定番になりつつある折り紙も楽しみました。イースターバニーの折り紙を三種類ご紹介しました。イースターについても少しご紹介させていただきました。



復興住宅・宅地造成



上の写真は現在行われている下安家地区仮設住宅の反対側に作られる予定の下安家地区の復興団地の造成の様子です。下安家仮設の方々がそのまま移られる予定だと聞いています。

下は2月に入居が開始された門前小路復興第二団地です。泉沢集会所でのお茶会の常連だったNさんも入居されたそうです。お茶会を終えて、車で周辺を視察しながら、誰からともなく「Nさんに会いたいね」「うん、その内お顔見に行こうね」と話しました。周りの方々を明るく笑顔にさせるNさん、新しいお家でも、楽しく過ごされることを心から祈りつつ第二団地を後にしました。

既に復興団地への入居されたの世帯数は26世帯です。来年には70世帯ほどの団地が出来上がるとお聞きしています。GWには安倍首相が三陸鉄道や復興団地、そして野田中仮設住宅を訪問されたようです。被災地で最も早いスピードで復興が進んでいるからでしょうか…。